

『立命館百年史』通史第一巻 目次

序

凡例

序章

立命館史の課題／私立学校の形成／京都の高等教育／
京都法政学校と立命館中学校／中川小十郎と立命館学
園

第一章 草創期の立命館 ―明治―

第二節 学祖西園寺公望と立命館

- 一 近代日本の夜明け「明治維新」
明治維新と西園寺／山陰道鎮撫使／フランス留学／
『東洋自由新聞』／憲法調査と駐欧公使
- 二 私塾立命館 ―建学の精神―
維新と教育の近代化／私塾立命館の創設／私塾立命館
の人々／立命館の開塾／開塾その後
- 三 西園寺公望と中川小十郎
中川の文部省時代／樺太庁と台湾銀行／元老西園寺公
望／西園寺と大正の政局／坐漁荘時代の「秘書中川」／
昭和の政局と西園寺 中川／中川の政治活動

第二節 京都法政学校の創立

- 一 京都法政学校創立前後の京都の教育
教育情況の概観／尋常中学校の拡充／中等程度の学校
の発達／高等専門教育の拡大へ向けて／待望される法
学系専門学校／京都法学校
- 二 西園寺文相の教育政策と中川小十郎
日清戦後の教育問題／西園寺文相の「世界主義」／女子
教育への関心／第二次教育勅語案／中川小十郎の青年
時代／文部省入省／文相秘書官時代／参事官時代
- 三 京都法政学校の創設
京都帝国大学創設と京都法政学校構想／創設に関わっ
た人々と創設予算／京都法政学校の創立／東三本木仮
校舎と広小路への移転
- 四 京都法政学校の学制と教育内容
監査官庁と特典の指定・認定／第一期生の学籍とカリ
キュラム／校外生制度と講義録／第一期生の卒業式
- 五 日清・日露戦間期の自由主義と学園
「ベルリン党」の四学士／京都法政学校の学術諸活動／
『経済時報』の創刊／京都法政学校の講師たち／教授
陣のアジア認識

第二節 私立京都法政専門学校と東方語学校

- 一 私立京都法政専門学校への改組
専門学校令の発布と改組／教育要求の変化と講師・学
生／草創期卒業生の進路と学生気質

二 東方語学校と日露戦争

アジア認識と日露開戦論／東方語学校の誕生／日露戦
争と法政専門学校／東方語学校生の従軍／学園の戦時
対応／京都における中国語教育事情／東方語学校編
『清語読本』／ロシア語教育と東方語学校／東方語学
校の閉鎖

第四節 京都法政大学の設立

- 一 京都法政大学の設立
大学部の設立／大学部の教育課程／大学予科の役割
- 二 学園の動向
校舎の増築・焼失、そして再建／法政大学第一回卒業
式と入学者／学科組織の変更／教育課程の変更／学生
数の伸び悩み／卒業生の少なさ

第五節 付属学校の出発

私立清和普通学校／私立清和中学校の創立／清和中学
校と吉田中学校／清和中学校の発展

第三章 立命館大学の創立 ―大正時代の学園―

第一節 財団法人「立命館」の設立

- 一 第一次世界大戦と大正デモクラシー
明治から大正へ／第一次世界大戦と京都／「デモクラ
シー」の波
- 二 財団法人「立命館」の設立と私立立命館大学
財団の設立／財団法人立命館の組織／学園の経営／財
団設立と校友
- 三 教学の推移
教学の充実と卒業生／一九一四年以降／『立命館学誌』
の発刊／立命館と地域社会／大正初期の学則／講師陣
と教学の展開／「擬国会」と特別研究科

第二節 「大学令」による立命館大学

- 一 「大学令」をめくって
「大学令」の公布／創立二〇周年祝賀大会
- 二 昇格運動と大学昇格
校友会の結成と昇格運動／「大学令」による大学昇格／
講演会と討論大会

第二節 昇格後の教学整備と中川館長

- 一 教学の整備
専任教授制の発定／教学の充実／「立命館文庫」の創設
／財政難との格闘
- 二 中川館長の動静
大正期の中川小十郎

第四節 自由主義の勃興と学園

- 一 大正期の京都と市長候補問題
沢柳事件と立命館／中川の京都市長候補問題
- 二 学園の動向と『立命館学誌』の論説
学園と学生の動き／社研と講演部／『立命館学誌』の論説／中川小十郎の主張

第五節 付属学校の発展

- 一 立命館中学と新教育運動
新教育運動の背景と教育思潮／京都における教育改造／学監・主事制の形成／小西教育子と立命館中学
- 二 「立命館」の中等教育
立命館中学の寄宿舎／教授・訓育・体育／立命館中学の特色
- 三 立命館中学の発展
一〇周年記念式典／『立命館中学の過去現在及将来』／北大路への校舎移転／勉学とスポーツの隆盛／大正後期の入学者・卒業生数／中学卒業生の動向

第三章 昭和期の学園

第一節 立命館大学の拡充

- 一 昭和初期の学園体制と教学
立命館職制の改革／大学学制の変更／文学科と教員検定／学術雑誌の刊行と出版部／スポーツ学術活動／中川のリーダーシップ確立
- 二 大学校舎の新築
校舎拡充の経過／上賀茂グラウンドの整備／学園の財政的危機
- 三 夜間大学・大学部夜間制の開設
夜間大学の開設／夜間開講の社会的背景／文学科の整備／総長制の創設／校歌制定と中央講堂「国清殿」の落成
- 四 禁衛隊の発足
『御大典』と立命館／禁衛隊の結成／禁衛隊の活動／禁衛隊精神の強調
- 五 「満州事変」と軍国主義化の波
恐慌から満州事変へ／「明治大帝聖像奉拝式」

第二節 京大事件と立命館

- 一 京大事件に対する立命館のスタンス
ファシズムと自由主義の狭間で／京大事件に至る内外の動き／瀧川教授の休職処分と教授会／京大事件の歴史的意義／京大事件に対する中川総長の態度／立命館の学生の動き
- 二 辞職教授らの立命館への招聘
立命館への招聘決定／中川総長の言説にみる招聘の動機／歓迎する校友／招聘決断の背景と動機
- 三 講座の充実と研究活動の展開

- 招聘教授と新講座／『法と経済』『立命館文学』の創刊／インター・カレッジ研究会／学内研究組織の充実／『立命館大学夏期講座』
- 四 佐々木学長と職制・学則の改正
京大事件と国家主義／佐々木学長の就任／学位規程の認可／一九二四年の学則改正／歴史地理科の新設

第二節 昭和初年代の大学運営

- 一 創立三五周年記念事業
創立三五周年祝賀式／記念行事と記念出版／中川会館建設
- 二 大学の人事・管理運営機構の改正
佐々木学長の辞任／『寄附行為』の一部改正と理事長の新設／信託預金問題
- 第四節 付属学校の動向
新たな教育改革へ／「皇軍中心主義」の教育体制／立命館中学校と立命館商業学校／禁衛隊精神の徹底と教学刷新／創立三五周年記念事業と夜間部の開設／立命館清和会の創設

第四章 戦時下の学園

第二節 戦時下の学制改革と財政

- 一 日中戦争と準戦時体制
高等教育の再編成と教育審議会／軍事教練の必修化と学生動員／『国体の本義』と教員の追放／科学技術の振興と動員／立命館学園の戦時体制への移行／「事変」下の立命館／創立四〇周年／大戦への序曲
- 二 財政と教学の改革
『寄附行為』の全面改正／立命館学園の財政状況／日中戦争の本格化と立命館／教学の改革

第三節 高等工科大学から日満高工専門学校へ

- 一 立命館高等工科大学の設立
電気工学講習所の継承／立命館高等工科大学
- 二 立命館日満高等工科大学の設立
日満高工設置への動き／学科・教育制度の特色／「満州国委託生」と普通生徒／立命館禁衛隊産業奉公団／日満高工卒業生の就職先／日本刀鍛錬所と実習工場
- 三 専門学校への改組
一九四一年度の学制改革／立命館大学専門学部／学科への昇格／学徒出陣・学徒動員／「満州国委託生」制度の改正／戦中における私立専門学校の規模

第二節 戦時体制下の大学の展開

- 一 創立四〇周年前後
創立四〇周年記念事業／西園寺文庫と管見記／西園寺

公望の逝去／学長の交代／教員の動向―杉本と小泉
三丁／夏期講習と禁衛隊自動車講習所／学生課の設置
と医務局の拡充

二 卒業生の動向と校友会

立命館学園の卒業生の動向／校友会の変遷

三 戦時体制の進行

時局の推移と教育行政／法経学部から法文学部へ

四 国防学・国体学と禁衛隊

国防学講座と国防学研究所／国体学科開講と「里見事
件」／禁衛隊の戦時体制／日本刀鍛錬所火災事件

五 戦時体制下の教学と学生

学徒動員体制の拡大／豊川海軍工廠／徴兵猶予制度の
撤廃／朝鮮人学生の徴兵／本土空襲下の学園

第四節 付属学校の戦時体制

立命館教育と準戦時体制／付属中学校の増設と中等部
の拡大／中学校の戦時教育体制／学徒動員／清和会の
動向

第五節 中川総長の逝去と敗戦

一 専門学校への転換

学校教育の敵前転回／立命館専門学校への改組／戦時
非常措置と中川総長／大学の特権降ろしと再掲出

二 中川小十郎の逝去と立命館葬

総長急逝／三〇〇〇人の学園葬／中川の人間味

三 敗戦と学園

占領と文教政策／戦後学園運営の問題／戦後学園内の
動向／末川博学長の登場

おわりに

あとがき

出典・参考文献一覧

図表一覧

本文写真一覧

口絵写真解説

立命館学園略年表(戦前戦中期)